

岡山マイクロリアクターネット第5回例会 (平成21年度第2回)

主催：岡山マイクロリアクターネット
共催：岡山大学アクチュエータ研究センター

日時：平成21年9月2日(水) 13:30~17:00 場所：ピュアリティまきび

1 開会 13:30~13:40
会長あいさつ

2 講演 13:40~16:40

(1) 「マイクロ化学技術の今後の展開ー大量生産プラントへの応用の可能性ー」

前一廣氏(京都大学大学院地球環境学堂 教授)



これまでの知見を踏まえたマイクロ化学技術の特長に関するサマリーを行ったのち、マイクロ化学技術の実用化工業技術としての可能性、マスプロダクションプロセスへの適用可能性について、2, 3の例を紹介し、今後の研究開発の方向性を参加者とともに考えていきたい。

(2) 「マイクロ流路評価用テラヘルツ波ケミカル顕微鏡の開発」
紀和利彦氏(岡山大学大学院自然科学研究科 准教授)

紀和氏の研究グループでは、溶液の化学反応、イオン濃度をテラヘルツ波として検出することのできるテラヘルツ波ケミカル顕微鏡の開発を行っている。

本講演では、この顕微鏡を用いてマイクロ流路内溶液濃度分布を可視化する手法について紹介する。



(3) 「keychem-L：汎用マイクロリアクターとラボ用システムの開発」
大西宏昇氏
(株式会社ワイエムシィ マイクロリアクタ研究所 主任研究員)



株式会社ワイエムシィは、マイクロリアクタの製造販売をはじめとする各種サービスを提供している。

本講演では、同社が開発したkeychem-Lシステムの事例を用いて、研究開発に汎用的に利用できるリアクターとシステムの開発について紹介する。